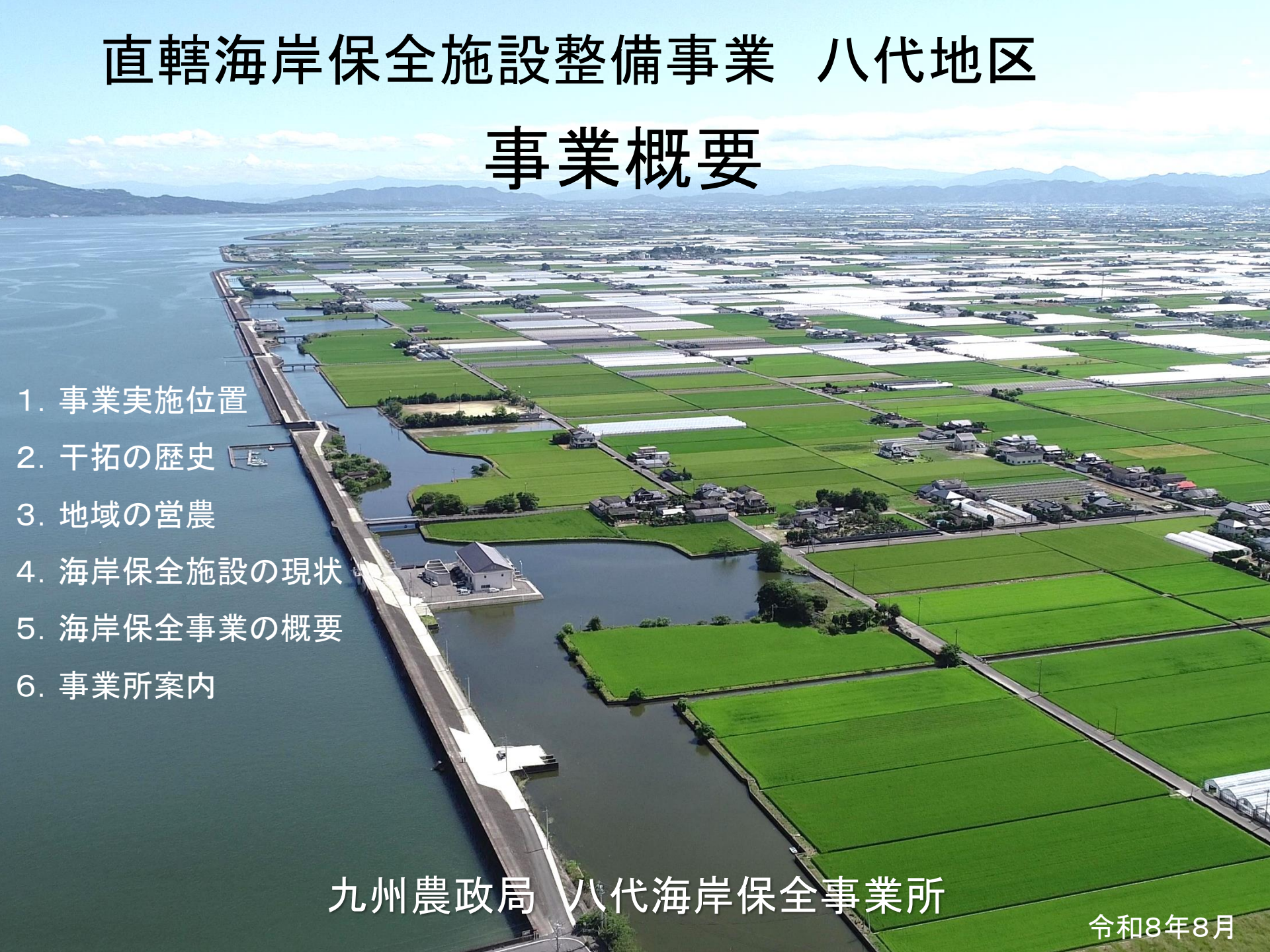


直轄海岸保全施設整備事業 八代地区

事業概要

- 
1. 事業実施位置
 2. 干拓の歴史
 3. 地域の営農
 4. 海岸保全施設の現状
 5. 海岸保全事業の概要
 6. 事業所案内

九州農政局 八代海岸保全事業所

令和8年8月

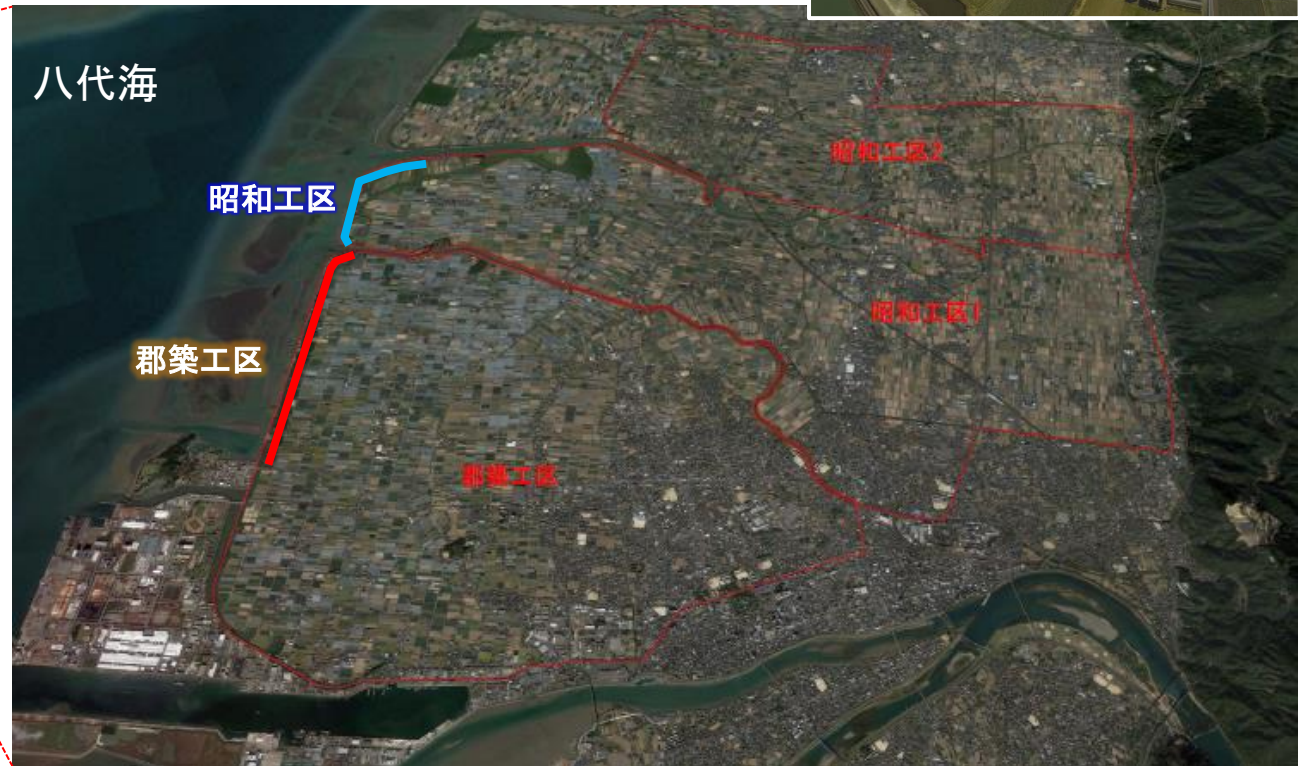
1. 事業実施位置

本地区海岸は、熊本県八代市にあり、九州の中央部、熊本市の南約40kmに位置し八代海沿岸の一部である。海、川そして広大な平野と多様で豊かな自然に恵まれており、全国有数の農業生産地帯として発展してきた。

【位置図】



【背後地の状況】



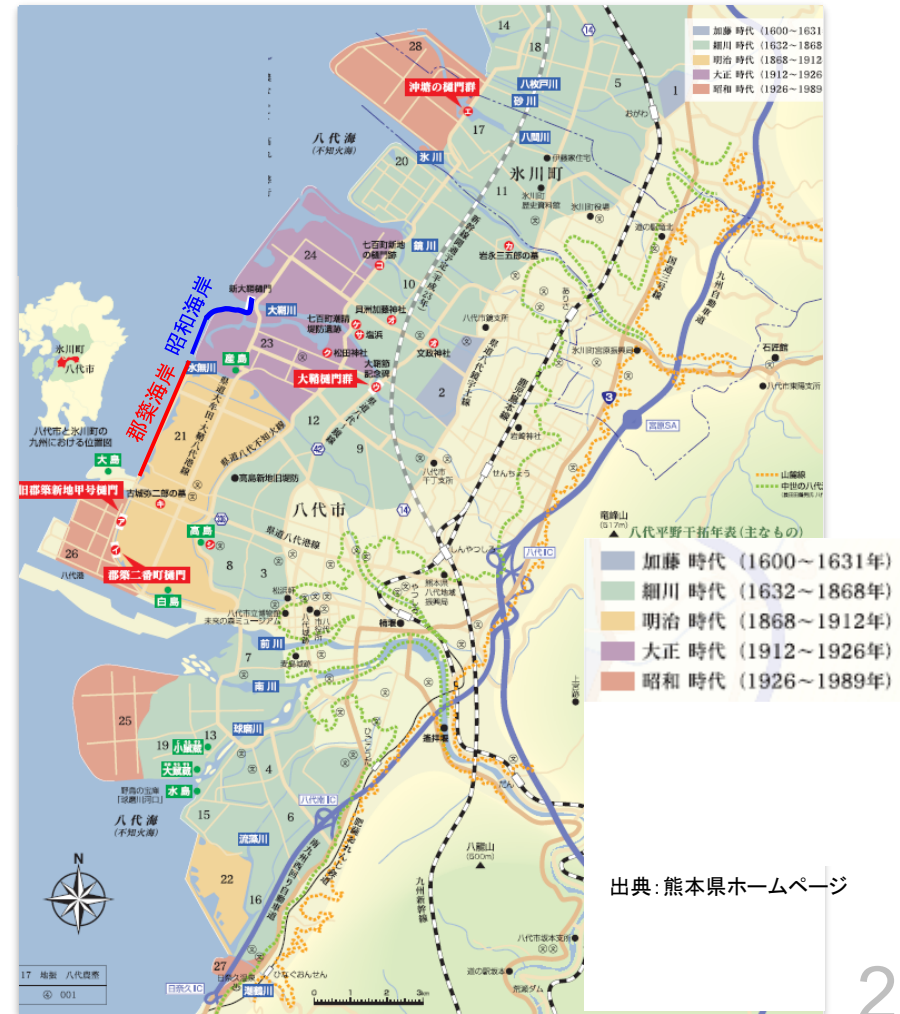
2. 干拓の歴史

八代地域は、古来より干拓適地として着目され、大規模な干拓は江戸時代から始まっており、八代平野の大半が干拓で陸地化されたものである。

昭和海岸については、大正時代の県営干拓事業で、**郡築海岸**については、明治時代に八代郡で干拓した時に海岸堤防を築造したものである。

▲ 八代平野干拓年表(主なもの)

番号	西暦	年号	地名	築造者	面積
1	1608	慶長13	新田村新地(河江)	加藤氏	67ha
2	1608	慶長13	外牟田開(千丁)	加藤氏	95ha
3	1673	延宝1	高子原新地(松高)	松井 直之	121ha
4	1764	明和1	揚新地(金剛)		104ha
5	1766	明和3	三軒屋開(豊福、河江)	細川氏・有吉大蔵 宇土細川氏	280ha
6	1769	明和6	敷川内新地(金剛)	松井 營之	132ha
7	1789	寛政1	麦島村新地(八代)		
8	1816	文化13	高島新地(八代)	松井 徴之	206ha
9	1819	文政2	大牟田新開(千丁)	藩 營	337ha
10	1821	文政4	七百町新地(文政)	細川氏	640ha
11	1838	天保9	鹿野新地(鹿野)	藩 營	201ha
12	1840	天保11	二の丸新地(八千把)	細川 興増	47ha
13	1842	天保13	葭牟田(金剛)	松井 章之	105ha
14	1842	天保13	松橋新開(豊川)	藩 營	339ha
15	1843	天保14	水島新地(金剛)	松井 章之	83ha
16	1845	弘化2	椎合新地(芦北・八代)	細川・松井氏	330ha
17	1852	嘉永5	網道新地(河江和鹿島)	野津手永	592ha
18	1854	安政1	砂川新開(豊川)	小島万平次	302ha
19	1855	安政2	三江湖新地(金剛)	松井 章之	78ha
20	1866	慶応2	野崎新地(鏡)	宇土細川	183ha
21	1904	明治37	郡築新地(八代)	八代郡	1,046ha
22	1904	明治37	明治新田(日奈久)	坂田氏等	258ha
23	1922	大正11	県営南新地(昭和)	県 営	570ha
24	1926	大正15	県営北新地(文政)	県 営	687ha
25	1953	昭和28	金剛干拓(八代)	国 営	425ha
26	1964	昭和39	八代港干拓(八代)	代 行	255ha
27	1967	昭和42	芦北干拓(日奈久)	代 行	33ha
28	1967	昭和42	不知火干拓(若洲、不知火)	国 営	528ha



3. 地域の営農

八代地域は、熊本県八代市、氷川町に跨がる標高ゼロメートル地帯の干拓地で、用排水施設の整備が進んだ現在では、水稻を中心に、トマト、レタス、ブロッコリー、メロン等の高収益作物を組み合わせた複合経営が展開され、八代市の農業産出額363億円のうち野菜が全体の約8割を占めてる。

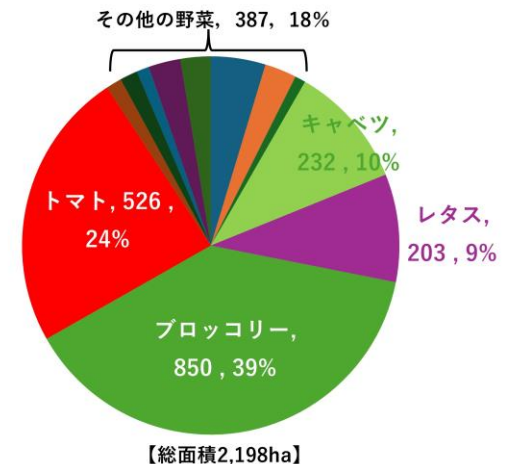
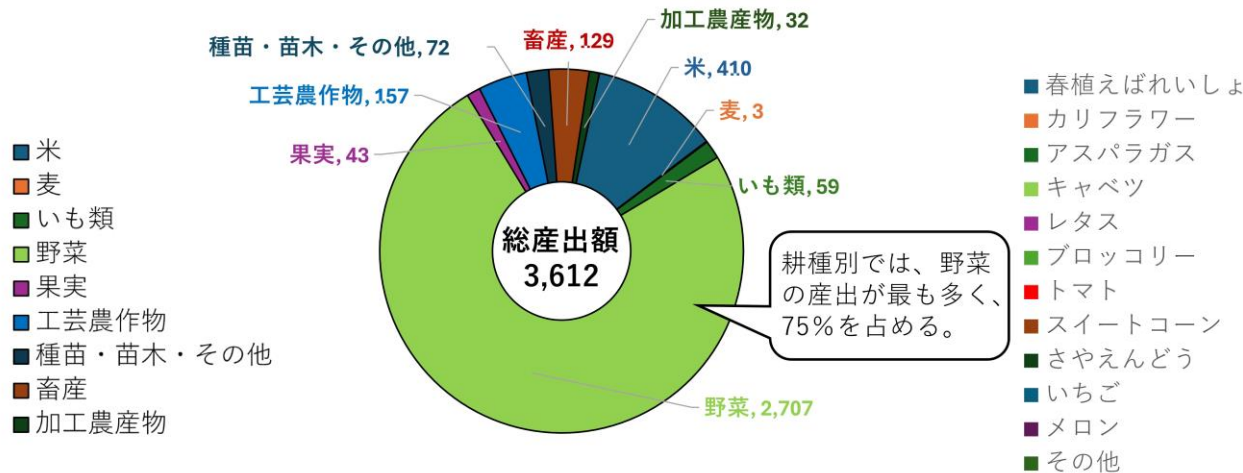
また近年は、い草からの転換作物としてレタス、ブロッコリー等の露地野菜の冬春期の重要産地として位置づけられている。



八代市の農業産出額（千万円）



八代市の野菜の作付面積（ha）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」
令和5年市町村別農業産出額（推計）を基に作成

熊本主要野菜生産状況調査について（令和4年産、令和5年産）」を基に作成

4. 海岸保全施設の現状（1）

①堤防の老朽化と沈下

堤防は、造成後約100年が経過し、老朽化と沈下が進んでいる状況。



②排水樋門の老朽化

排水樋門は、機能診断の結果、大半が補修や補強が必要な状況まで老朽化が進行。



4. 海岸保全施設の現状（2）

③台風、高潮・高波による被害

台風常襲地帯にあり、堤防高の不足等により度々、高潮・高波が堤防を越波し、農作物の被害が発生。



郡築海岸の越波



トマトの湛水被害

④地震による被害

平成28年熊本地震で、堤防等に被害が発生。



郡築海岸の堤防の被災状況



昭和海岸の堤防の被災状況

4. 海岸保全施設の現状（3）

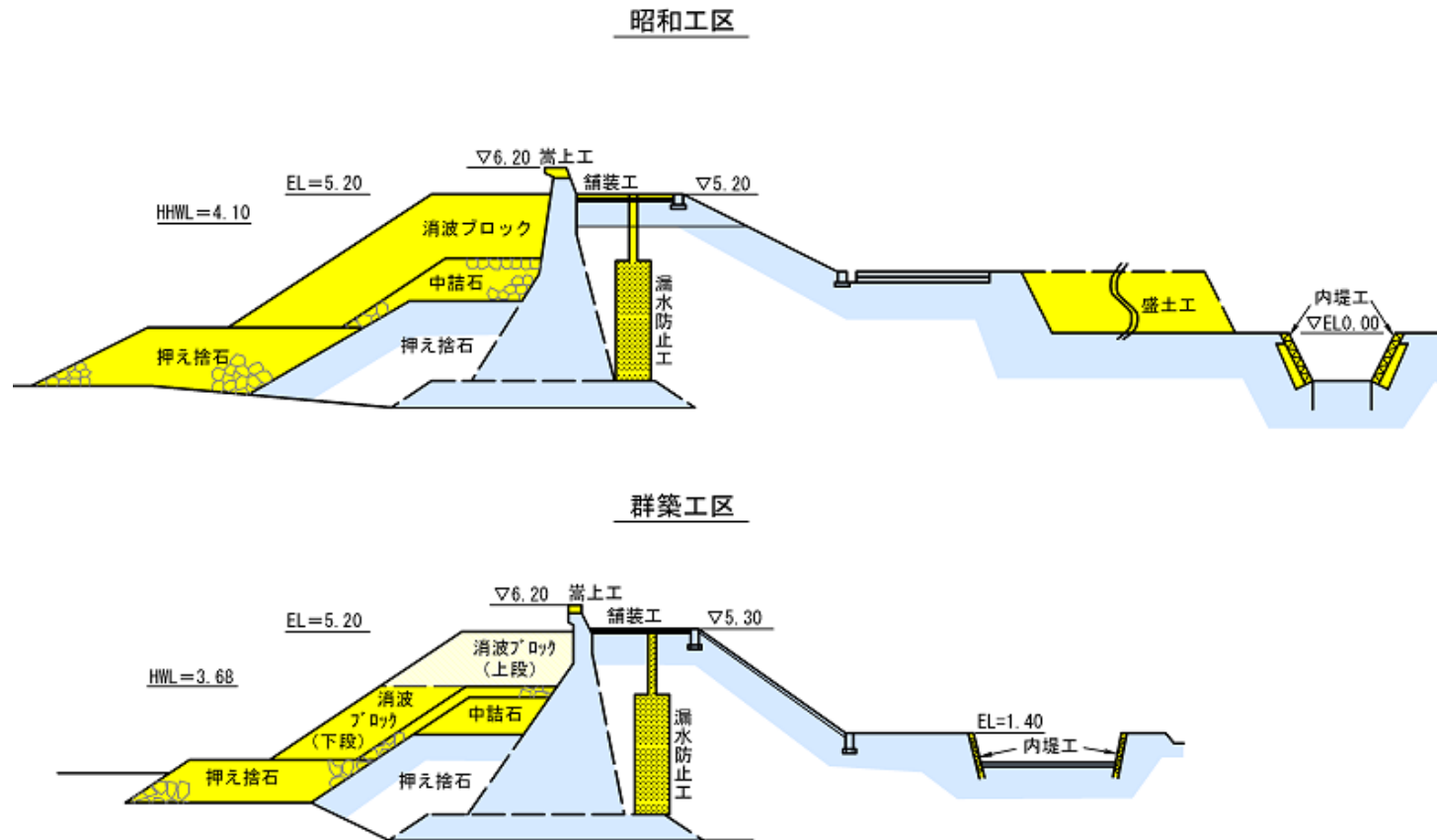
⑤ 県営海岸保全事業等

【県営海岸保全事業】

干拓以降、熊本県において昭和33年から県営海岸保全事業により、堤防等の管理や整備が鋭意進められてきました。

【直轄代行海岸工事】

平成28年熊本地震により堤防等に被害を受け、熊本県知事からの要請を受け、国が災害復旧事業を行う直轄代行海岸工事として復旧工事を行いました。



5. 海岸保全事業の概要（1）

事業の目的

本地区では、常襲する台風により度々高潮・高波による農作物等の被害が生じており、また、堤防等の施設は、想定される地震（日奈久断層帯地震）に耐え得る性能を有しておらず、液状化被害も危惧されています。

このことから、本事業は、高潮・高波及び大規模地震による甚大な被害を防ぐ目的で、海岸保全施設を整備します。

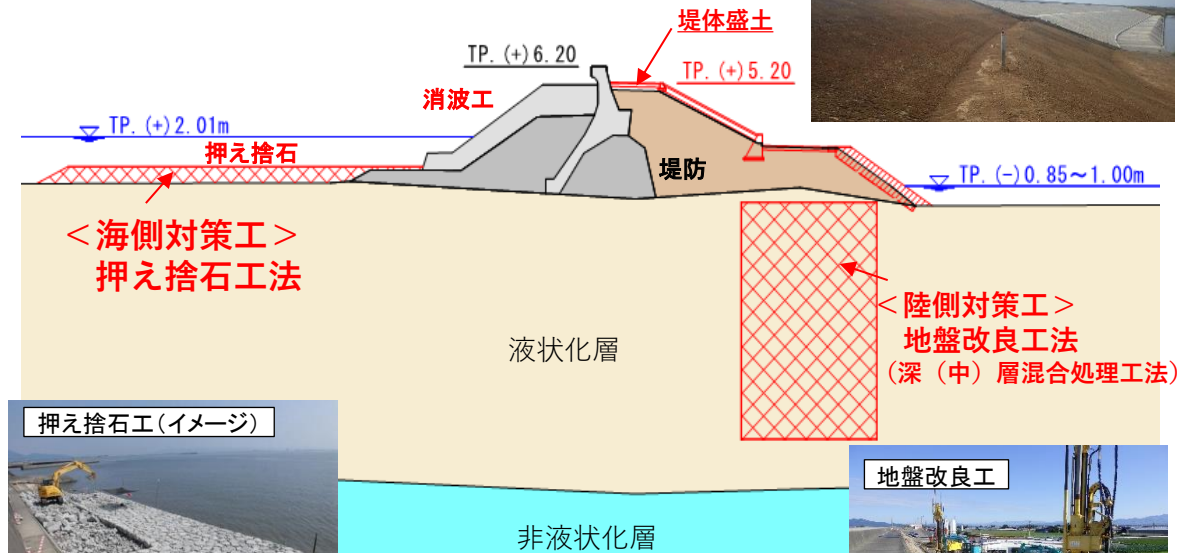
事業の概要

- 関係市町村：熊本県八代市、氷川町
- 防護面積：5,489ha
- 改修延長：約5.6km
- 総事業費：300億円（予定）
- 事業工期：令和3年度～令和21年度（予定）
- 主要工事計画：

堤防工	L=5.3km
潮遊池工	L=5.3km
消波工	L=0.8km
排水樋門工	7箇所



標準計画断面（案）

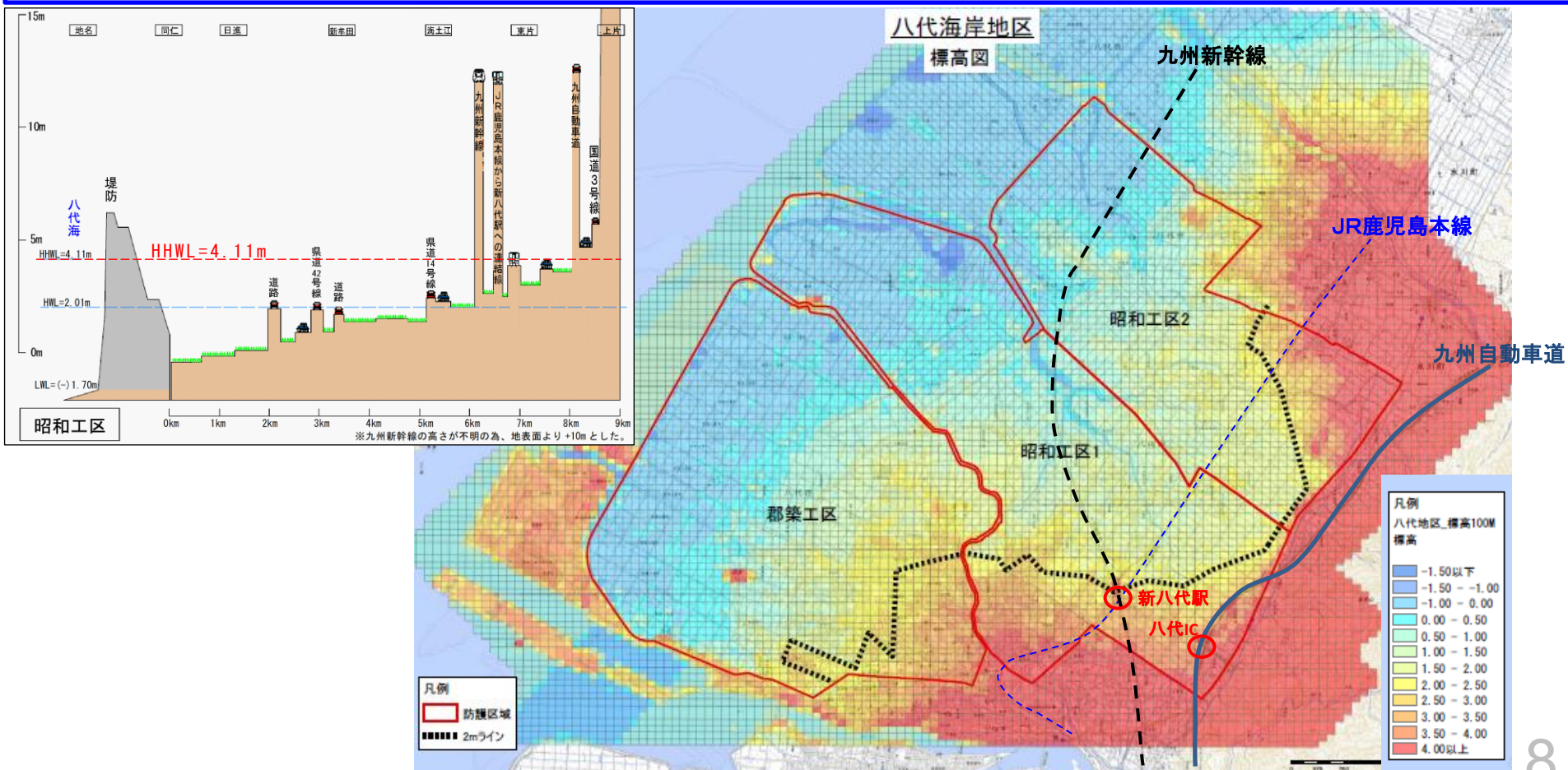


※対策工法は詳細な地質調査と解析を行って決定します。

5. 海岸保全事業の概要（2）

背後地の地形と土地利用

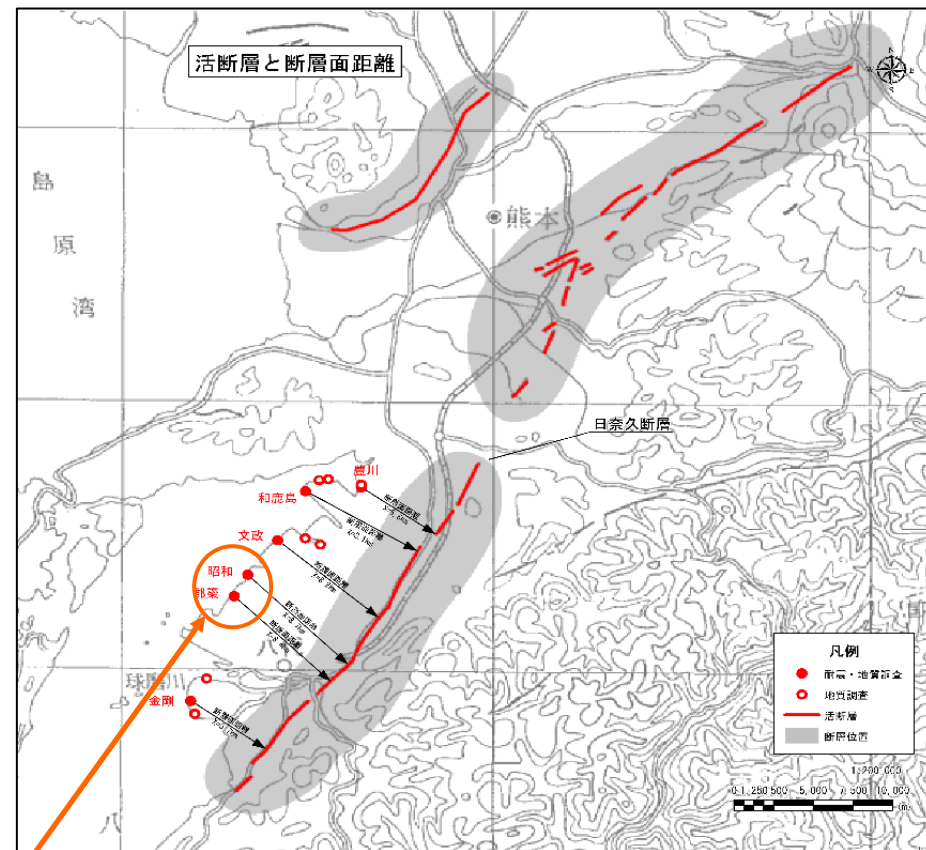
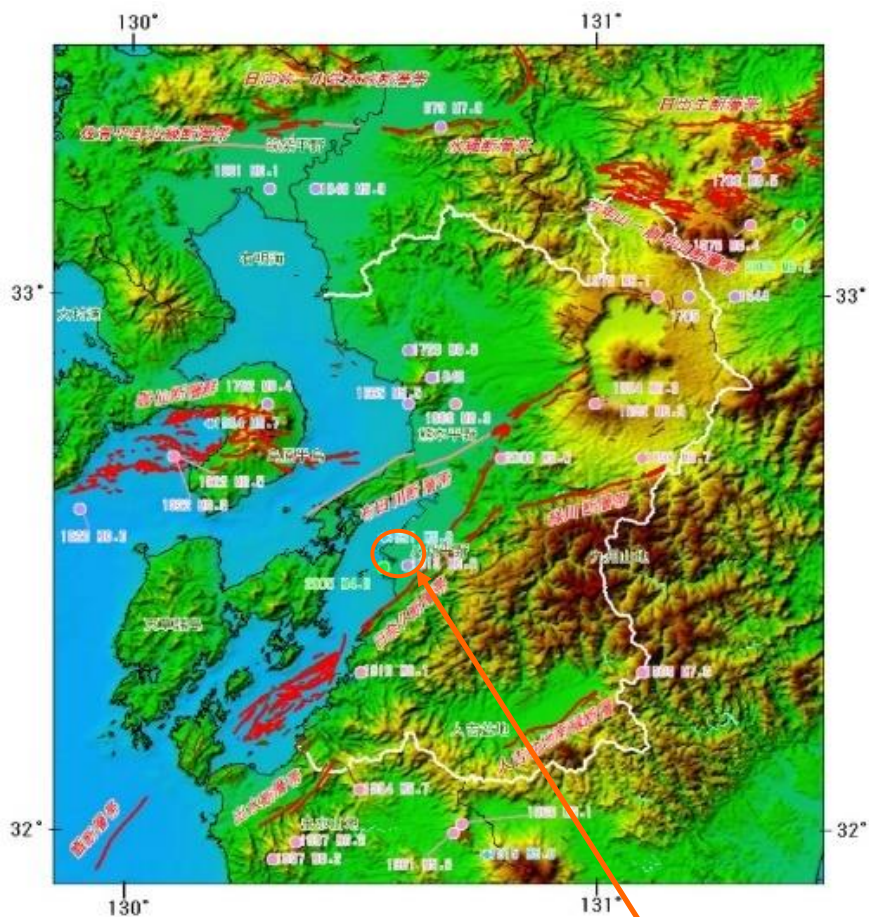
- 本地区の背後地は、干拓により形成された土地で、**標高ゼロメートル前後**の低平地が広がる。
- 背後地は、3,832haが**農地**として利用されるとともに、**宅地**のほか**学校**、**道路**、**鉄道**などの重要インフラが**整備**されています。



5. 海岸保全事業の概要（3）

想定される大規模地震

近傍に多くの活断層を抱える日奈久断層帯が分布しており、大規模な地震の発生が予見されています。

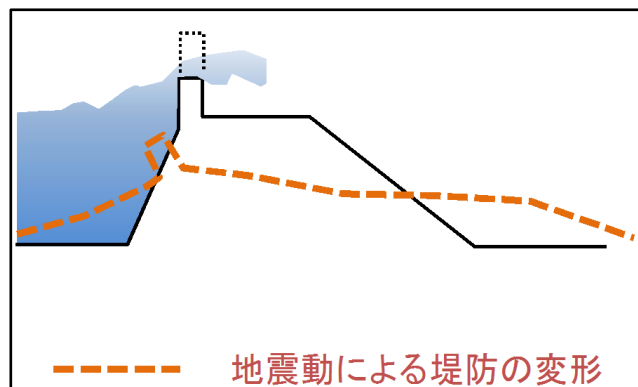


八代地区

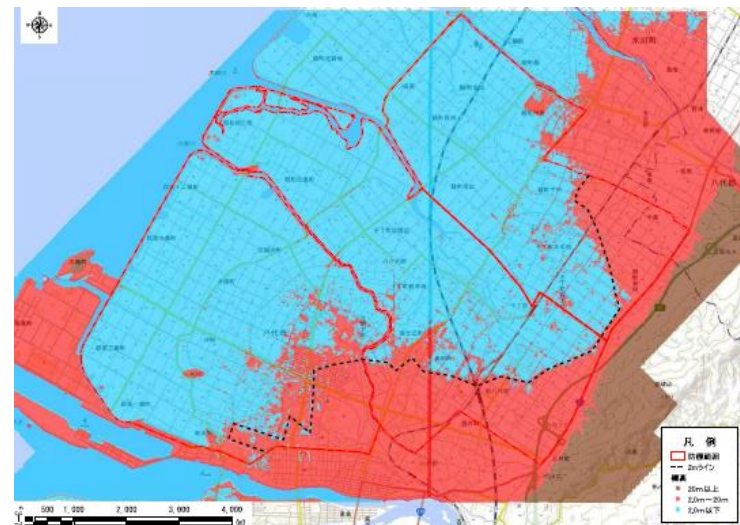
5. 海岸保全事業の概要（4）

堤防等の耐震対策

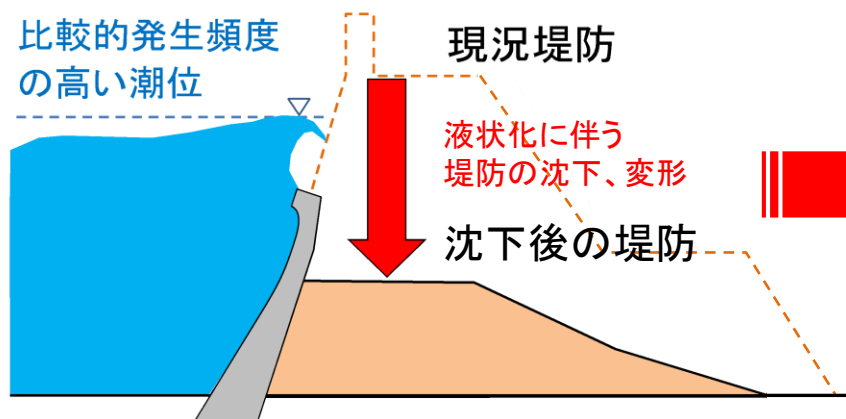
堤防等は耐震性を有しておらず、液状化も発生した場合、堤防の変形、沈下による決壊が危惧されます。



地震により堤防が決壊すれば、甚大な被害が発生
（浸水被害1,900ha、被害家屋は約1,500戸、被害額は約1,170億円）

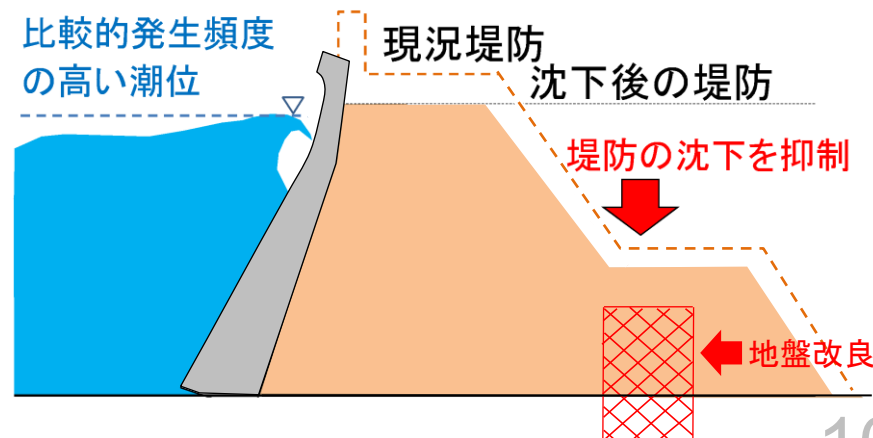


未対策の堤防



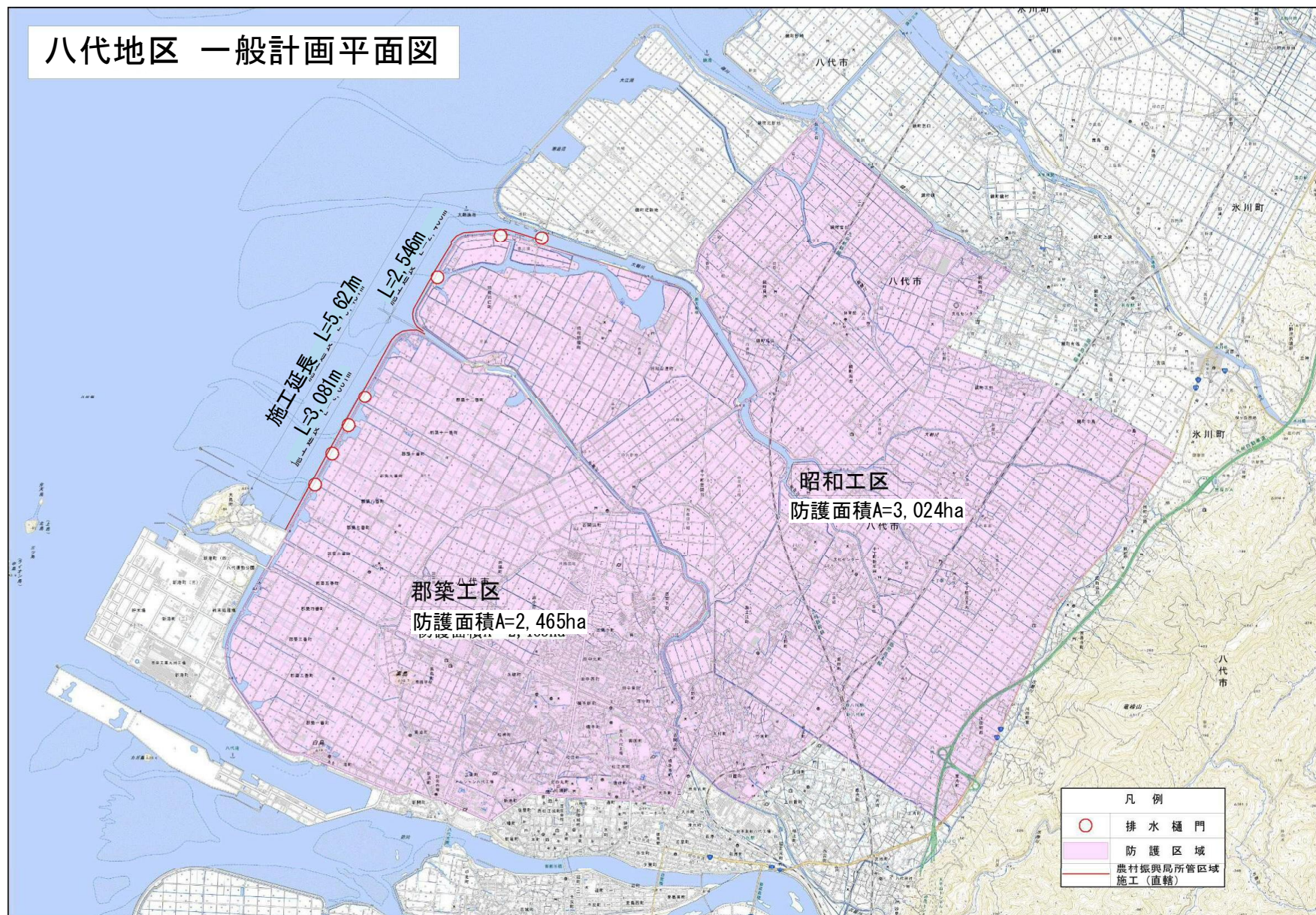
対策後の堤防

※対策工法は詳細な地質調査と解析を行って決定します。

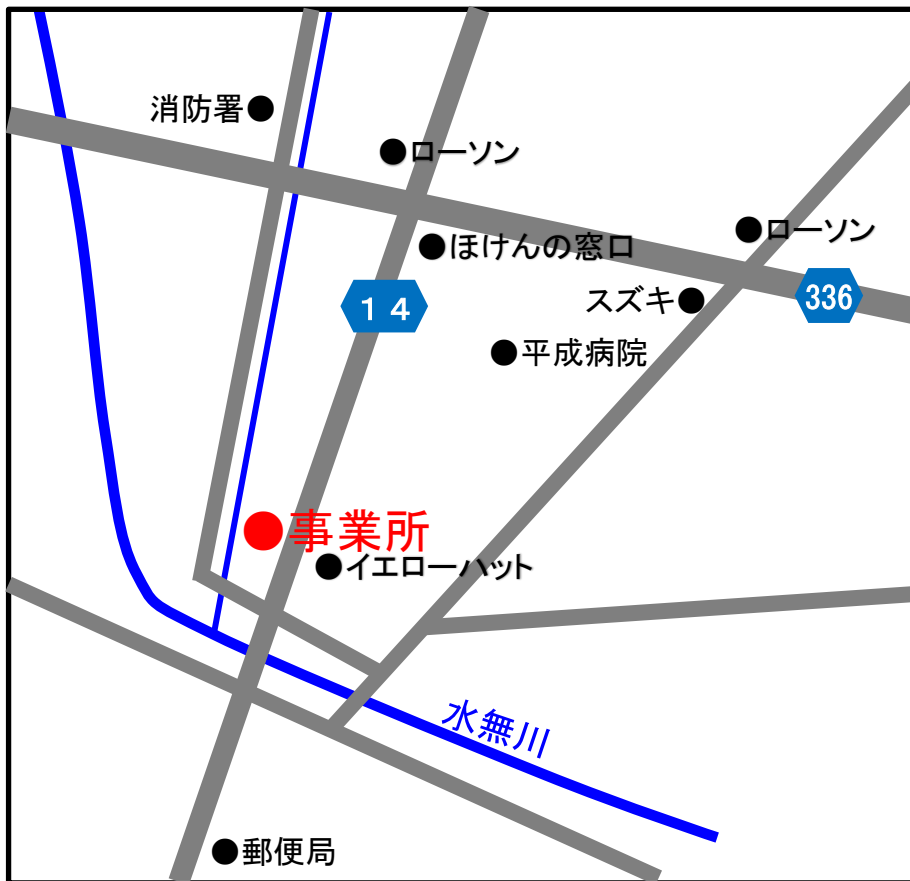


5. 海岸保全事業の概要（6）

八代地区 一般計画平面図



6. 事業所案内



八代海岸保全事業所
〒866-0895 熊本県八代市大村町1092-1
TEL:0965-37-8955



事業所庁舎